

－ ガラスや刃物には 切創防止手袋 －

「カッターナイフ」や「ガラス」の取り扱いで、“手袋をしていたのに怪我をした”という話が後を絶ちません。

軍手ごと指を切ってしまった、グローブごと切れた
怪我防止のためにせつかく手袋をしていても
怪我の防止にならなかったのではやりきれません。

軍手は意外と刃物に弱い →



そこで

「カッターナイフ」や「ガラス」の取扱いは“**切創防止手袋着用**”をルールとします
“切創防止”なんて聞きなれない手袋、何に使う手袋なのかわかりにくいですが
軍手のような綿よりも、革手の革よりも切れにくい繊維「**ケブラー繊維**」で編んだ
作業用手袋です、作業の用途に応じて 厚手、薄手、耐滑、耐熱、様々販売されてます

「切創」とは：ガラスや刃物など鋭い器物による切り傷のことを指す医学用語

薄手タイプ



滑り止め付きタイプ



ゴム引きタイプ



ただし、ケブラー繊維製品には取り扱いに注意事項があります

・紫外線に弱いため、変色してきたら要交換、保管は直射日光を避けること

また、軍手状の編んだタイプは「ほつれ」も出るため、丸ノコには使用しないでください

新発田建設の安全ルール

§. カッターナイフで材料を切る削るなどの作業、断面に防護がされてないガラス製品の
取り扱いの作業は、「切創防止手袋」の使用を安全ルールとします。

手袋をしてたのに怪我を防げなかった、ということが無いように使用の指導に努めてください。